



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 日本外科宝函 1975, 44(1)

ISSUE DATE:

1975-01-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/208049>

RIGHT:

ARCHIV
Für
Japanische Chirurgie

Bd. 44 1975

日 本 外 科 宝 函

第 44 卷 総 目 次

CHIRURGISCHE UNIVERSITÄTSKLINIK
KYOTO JAPAN

(Arch. Jap. Chir.)

京都大学医学部外科整形外科学教室内

(日. 外. 宝)

日本外科宝函編集室

第 4 4 卷 総 目 次

話 題

レーザー外科メスについて……………	久 山 健 (1)
外循環法について……………	龍 田 憲 和 (73)
外科臨床におけるリンパ管の研究……………	里 村 紀 作 (157)
手術感染予防法の発展……………	長 井 淳 (279)
肺外科での最近の動向……………	野々山 明 (381)
Sterling Bunnell に想う手の外科の進歩……………	上 羽 康 夫 (449)

原 著

Chenodeoxycholic acid による胆石溶解に関する実験的研究……………	谷 村 弘, 他 (3)
胆石中に含まれる微量金属元素の X線マイクロアナライザーによる分析的研究……………	端野 博康, 他 (21)
慢性期頭部外傷の局所脳循環に関する研究……………	遠 藤 英 雄 (75)
脳動脈瘤の成因ならびに増大・破裂機序に関するバイオメカニクス的研究……………	森 竹 浩 三 (87)
第 1 部 脳動脈の組織構築と力学的特性に関する研究	
第 2 部 脳動脈分岐部および脳動脈瘤内の血流動態に関する血行力学的研究	
螢 光 抗 原 法……………	児 玉 宏 (124)
——腸管における抗アデノウイルス抗体保有細胞の観察——	
先天性水頭症 (ch) マウスの脳室近傍白質の微細変化……………	森 惟明, 他 (159)
食道癌手術に併用する制癌剤療法に関する研究……………	柴 田 眼 治 (169)
幼児期における臼蓋形成術および骨盤骨切り術の臼蓋の 發育に及ぼす影響について……………	山室 隆夫, 他 (199)
急性期における脳血管閉塞の血行再建に関する実験的研究……………	小 山 照 夫 (214)
——特に脳代謝を中心として——	
頭蓋単純撮影で認められる Neurofibromatosis の一次性骨変化……………	小山 素磨, 他 (226)
僧帽弁膜症に対する手術の効果に関する臨床的研究……………	永 田 匡 之 (234)
——血行動態を中心にして——	
ラ ト 脳 灌 流 法……………	樫木 良友, 他 (257)
——手技と長時間脳波記録例——	
水頭症に対する脳室腹腔連絡術の成績……………	坂井 昇, 他 (267)
——腹腔側管 slit 増設法の効果について——	
胃全摘術後の代用胃とダンピング症候群に関する研究……………	年 光 昌 宏 (281)
常温下冠血流遮断 (Anoxic Cardiac Arrest) の 安全限界に関する実験的研究……………	小 田 達 郎 (313)
髄液中の 14 種類の血漿蛋白の定量と臨床分析法……………	寺 野 允 将 (383)
出血、骨折及び低酸素状態における脂肪塞栓の実験的研究……………	上尾 豊二, 他 (415)
動脈血行再建術に関する 2,3 の基礎的研究……………	濱 田 國 弘 (451)
脾全切除後の糖質代謝 とくに外因性インスリンの代謝に関する研究 (第 1 編)……………	小西 克彦, 他 (465)
消化器外科領域におけるアデノウイルス感染症の研究……………	正 木 直 也 (474)
——特に虫垂炎並びに小児腸重積症の検討——	
臨 床 内頸動脈狭窄に対する Thromboendarterectomy についての検討……………	清水 英範, 他 (141)

血液透析を目的とした後脛骨動脈再建術	池田 正尚, 他 (51)
——自家大伏在静脈皮下移植による——	
消化管結核11例について	大橋 広文, 他 (56)
心室中隔欠損症, Falot 四徴症, 完全大血管転位症の	
乳児期一期的根治手術	森 渥視, 他 (330)
1,4-Dihydropyridine 誘導体 YC-93 の脳血管に対する作用	半 田 諒 二 (343)
——ネコ脳底動脈の実験的収縮に対する拮抗作用を中心に——	
種々膝人工関節の経験	上尾 豊二, 他 (352)
抗癌剤の局所動脈内注入法について	村田 真司, 他 (424)
痔核に対するサーカネッテンと緩下剤との臨床効果の比較	里村 紀作, 他 (436)

症 例

ヘパリン加生理的食塩水の総胆管内注入によって	
治癒させ得た肝内遺残結石の 1 例	長瀬 正夫, 他 (61)
多発性血管芽腫の 1 治験例	山本 豊城, 他 (150)
総胆管末端部通過性の判定法について	長瀬 正夫, 他 (365)
総胆管拡張と胆石形成	長瀬 正夫, 他 (370)
腫骨における稀な奇形の 1 例	森 田 信 (375)
乳頭部癌の無黄疸症例	南 亮 (444)
第 6 回中国四国脳神経外科談話会	(66)
昭和49年京都大学脳神経外科学教室 同門会集談会	(271)
第 1 回近畿脳腫瘍研究会	(378)
第74回岐阜外科集談会	(495)
第75回岐阜外科集談会	(498)
第76回岐阜外科集談会	(500)
第77回岐阜外科集談会	(502)

第 4 4 卷 索 引

人 名 索 引

A

阿 部 達 彦……………495, 499, 504
 阿 部 輝 夫……………500
 青 木 敦……………497, 506
 青 木 秀 夫……………69
 青 木 秀 暢……………70
 麻 田 勇……………465
 浅 野 拓……………69
 安 藤 史 隆……………330
 安 藤 喜 公……………497, 502
 安 食 了……………504

B

馬 場 瑛 逸……………495, 496, 499, 501
 伴 貞 彦……………150, 275, 378
 伴 邦 充……………497, 506

C

中 条 武……………257, 505
 中 条 節 男……………68

D

土 井 章 弘……………68
 土 井 達 朗……………498

E

遠 藤 英 雄……………75

F

Ferguson Jr., Albert B ……415
 藤 岡 晨 宏……………51
 藤 野 秀 策……………68
 深 井 博 志……………68
 福 西 亮……………69
 福 光 太 郎……………276
 船 越 孝……………503, 505
 古 瀬 清 次……………274

G

玄 貴 雄……………68

五 石 惇 司……………66, 69
 後 藤 明 彦……………497, 502
 後 藤 弘……………68

H

濱 田 國 弘……………451
 浜 脇 光 範……………66
 端 和 夫……………274
 端 野 博 康……………21
 長谷川 豊 男……………424
 波多野 光 紀……………69
 初 音 嘉一郎……………496, 497, 504
 初 音 三重子……………496, 497, 504
 林 勝 知……………503
 半 田 肇……………226, 271, 379
 半 田 讓 二……………226, 343
 東 健 一 郎……………69, 71, 277
 東 修 次……………497, 501, 504
 日 笠 頼 則……………21
 日 野 輝 夫……………502
 樋 野 啓 一……………378
 平 田 俊 文……………424
 平 山 昭 彦……………273
 広 瀬 光 男……………495, 496, 499, 501
 広 瀬 旭……………267, 505
 本 多 雅 昭……………506
 本 庄 一 夫……………465
 堀 部 廉……………497, 500, 501
 堀 江 正 宣……………498, 501
 堀 江 良 一……………271
 細 野 惺……………415
 細 野 芳 雄……………499

I

家 森 幸 男……………271
 池 田 正 尚……………51
 生 野 弘 道……………378
 五十嵐 正 至……………276
 鯉 川 哲 二……………67
 今 村 健……………501, 503, 504
 井 口 孝 彦……………67

井 原 清	69
井 上 律 子	496, 498, 501, 504
石 黒 稔	436
石 井 雄 二	497, 506
石 島 裕	273
石 川 進	67
石 原 浩	496, 498, 501, 504
板 垣 徹 也	67, 70, 141, 272, 273
伊 藤 文 雄	501
伊 藤 雅 治	501, 504
伊 東 達 次	497, 502
伊 藤 隆 夫	497, 500, 501, 505
伊 藤 鉄 夫	352
岩 橋 寛 治	424
岩 槻 清	70

J

陣 内 皓之祐	276
---------	-----

K

香 川 泰 生	498
梶 川 博	67
上 条 純 成	274
金 津 和 郎	51
兼 松 稔	495
神 崎 義 雄	330
唐 沢 淳	274
樫 木 良 友	257, 495, 499, 501, 504
加 地 秀 樹	503
加 藤 康 夫	496, 498, 501, 505
勝 山 諄 亮	378
川 上 伸	71
川 村 純一郎	275
川 迫 堯 之	497, 506
河 井 淳	330
河 田 実 夫	66, 69
河 田 幸 道	495, 498, 501, 503, 504
河 田 良	497, 499, 504
木 戸 晋	61, 365, 370
菊 池 晴 彦	274
岸 本 恭	505
喜 種 善 典	71
橘 地 信 雄	436
児 玉 宏	124

小 林 君 美	496, 498, 501, 504
小 川 隆 司	496
小 川 孝	499
小 西 克 彦	465
小 島 孝 司	495, 500, 505
後 藤 明 彦	499
小 山 素 磨	226
近 藤 明 恵	276
近 藤 祐 之	276
熊 谷 勝	495
国 枝 篤 郎	257, 495, 497, 499, 502, 503, 504
黒 田 勲	502
黒 田 秀 夫	436
久 山 秀 幸	70
久 山 健	1
桑 山 光 文	271

M

間 島 正 徳	436
真 鍋 武 聡	274
正 木 直 也	474
松 原 長 樹	502
松 田 功	274
松 本 興 治	495, 499
松 本 悟	273
松 本 守 海	496
松 本 幸次郎	497, 500
松 永 守 雄	66, 271
松 波 英 一	496, 500, 505
松 下 捷 彦	424
松 浦 昭 吉	496, 500, 505
三 尾 六 蔵	497, 506
三 浦 隆 司	500
三 輪 勝	501, 505
三 輪 佳 宏	276
三 宅 幾 男	67
三 宅 新太郎	69
南 亮	444
宮 本 亮	499
最 上 平太郎	378
本 永 満	66
森 渥 視	330
森 惟 明	159
森 本 一 良	378

森 本 益 雄	70
森 田 信	375
森 竹 浩 三	87, 108
守 田 和 彦	150, 378
村 岡 淨 明	71
村 瀬 恭 一	495, 496, 499, 502, 503
村 田 真 司	424
村 田 高 穂	276

N

長 井 淳	279, 352
長 瀬 正 夫	61, 365, 370
永 井 博 之	51
永 田 匡 之	234
永 瀬 英 樹	495, 500
中 尾 哲	275
中 納 誠 也	498, 501, 504
中 瀬 明	465
中 村 昂	273
名 和 光 博	495, 499, 503
西 嶋 義 信	61, 365, 370
西 本 詮	70, 71
西 村 一 郎	465
西 村 周 郎	378
西 浦 巖	276
西 浦 常 雄	495, 498, 501, 503, 504
任 清	378
野木村 昭 平	424
野 島 丈 夫	71
野 村 恭 淳	504
野々田 力	495
野々山 明	381

O

大 橋 広 文	504
大 洞 慶 郎	273
大 熊 晟 夫	267, 495, 498, 499, 502
大 西 英 之	274
大 西 紀 夫	352
大 前 勝 正	257
大 沢 一 也	495, 505
大 田 浩 右	67
小 田 達 郎	313
小 山 昭 夫	214

及 川 肇	502
尾 形 誠 宏	150, 275, 378
岡 正 典	352
岡 伸 光	495, 500, 505
岡 本 忠 雄	503, 505
奥 秀 喬	330
沖 修 一	66, 69
鬼 東 惇 義	499, 501
芋 坂 邦 彦	273

R

A. J. レイモンディ	159
ラタナスィリ, ターウーオン	199

S

雑 賀 俊 夫	502
斉 藤 晃	424
斉 藤 義 一	71
榊 寿 右	274
里 村 紀 作	157, 436
坂 義 人	498
坂 井 昇	267, 497, 498, 505
坂 田 一 記	257, 267, 498, 499, 501, 503, 504
佐 治 董 豊	495, 497, 499, 503, 505
佐 伯 英 行	501
佐 野 彰	501, 502, 503
佐々木 潮	67, 70, 141, 272, 273
佐 藤 宏 二	68
佐 藤 倫 子	273
佐 藤 慎 一	275
佐 藤 照 夫	257
操 厚	503, 505
柴 田 眼 治	168
渋谷 健	276
渋谷 智 顕	497, 500, 501, 505
敷 波 晃	505
島 健	68
島 田 脩	497, 500, 501, 505
島 津 良 一	503
清 水 敏	276
清 水 英 範	67, 70, 141, 272, 273
清 水 鴻 一郎	276
清 水 徹	495, 500
清 水 幸 雄	496, 499, 502

清水保夫	498
下川邦泰	495
城谷均	330
関野昌宏	499, 503
瀬山元一	61, 365, 370
節家直己	330
世良敏行	436
杉田太一	21
須藤峻章	465
須原邦和	506

T

田隅正弘	271
田中清介	352
田中千凱	497, 500, 501, 505
田中泰三	61, 365, 370
高井清一	497, 500, 501, 505
高木貞治	66
高木卓爾	274
高橋勝	67, 70, 141, 272, 273
高橋伸明	71
高橋利典	500
高倉公明	379
高見政美	71
竹腰知治	495
竹中正文	3, 21
竹友隆雄	502
武内重二	379
館林欣一郎	69
立松憲親	500, 505
棚橋順一	496, 498, 504
種村広己	497, 499, 504
谷二三生	271
谷川雅洋	69
谷村弘	3, 21
峠本勝司	273
龍田憲和	73
龍野勝彦	496, 497
鄭漢彬	495
寺野允将	379, 383
陶緒平	496
十屋十次	497, 505
富永芳徳	352
年光昌宏	281

豊嶋駿	68
辻宏	273
上羽康夫	449

U

上羽康夫	449
上尾豊二	352, 415
内田泰史	379
植田清隆	67
上松治孝	496, 505
梅田昭正	68
梅林義彦	271

W

和田英一	496, 500, 505
湧田幸雄	69
渡辺祥	503

Y

山田弘	257, 267, 498, 499, 505
山口勝雄	330
山室隆夫	199, 352
山森績雄	497
山本潔	352
山本真史	501, 503
山本道雄	501, 504
上本悟	505
山本豊城	150, 275, 378
山本祐司	66
山崎駿	273
山里有男	496, 498, 501, 504
山下純宏	379
安永敏美	424
吉田泰二	274
吉村晴夫	66
吉田治義	51
吉田敏生	496, 500, 505
吉田康成	272
吉津法爾	67
吉岡純二	70
横須賀達也	504
弓取克弘	66, 271

物件索引

A

アデノウィールス	474
Albright syndrome	498
Acusticus tumor	69
Anti-cancer agent	424
AVM	70

B

Bile duct	370
Bio-clean room	279

C

Calcaneus	375
Cat eye syndrome	495
Carcinoma	444
Carotid endarterectomy	70
Cerebral blood flow	75
Cerebellar hemangioblastoma	150
Cerebral infarction	214
Cronkheit-Canada 症候群	500
直腸脱	502
聴神経鞘腫	69
虫垂炎	474

D

Dysraphism	273
大動脈弁	496
大血管転位症	341
ダンピング症候群	312
唾液腺腫瘍	500
動脈血行再建術	451
動脈塞栓症	499

E

Epidermoid cyst	69, 505
Ellis van Creveld Syndrome	503
Endarterectomy	272
Extracorporeal circulation	73
エナメル上皮腫	495

F

Fallot 四徴症	330, 341, 496
------------	---------------

腹部神経原腫瘍	497
腹腔神経ブロック	496

G

Glioblastoma	378
Gallstone	21, 370
Gastrectomy	281
外頸動脈海綿静脈瘻	69
癌性結腸狭窄	497
グリア特異抗原	378

H

Hemodialysis	51
Hemodynamics	108
Hygroma	502
Hyperpyrexia	498
肺外科	381
針刺激	271
平滑筋腫	499, 505
閉塞性無尿	504
膝人工関節	352

I

Intraluminal shunt	70
インスリン	465
胃非上皮性腫瘍	506
胃悪性リンパ腫	505

J

痔核	436
静脈血栓症	436

K

解離性大動脈瘤	504
褐色細胞腫	501
陥凹骨折	276
冠血流遮断	313
肝内遺残結石	61
結腸癌	497, 500
結腸憩室	503
螢光抗原法	124
血行力学	108

血管芽腫	378
頸椎症	67
奇形腫	499, 502
白蓋形成術	213
抗アデノウイルス抗体保有細胞	124
抗癌剤	424
抗生物質髄内移行	274
睾丸腫瘍	497
後脛骨動脈再建術	51
硬膜下血腫	274
硬膜外血腫	505
好酸球性肉芽腫	501
骨盤骨切術	213
骨肉腫	273
クモ膜囊腫	69

L

Liposarcoma	505
-------------	-----

M

膜型人工肺	504
慢性期頭部外傷	75
Medulloblastoma	379
Mélanose neurocutanée	66
Meningioma	68
Mesodiverticular vascular band	503
無輸血開頭術	276

N

内頸動脈狭窄	141
粘液腫	496
Knee prosthesis	352
脳微小循環	274
脳動脈瘤	71, 87, 108, 273, 274
脳灌流	257
脳血管閉塞	214
脳内血腫造影	67
脳プレチスモグラム	66, 271
脳室腹腔連絡術	267
脳腫瘍の免疫学	379
脳代謝	214
脳 胸	501
尿道形成術	498

尿管皮膚瘻	498
尿路奇形	495
乳頭部癌	118

O

Odii	365
横隔膜ヘルニア	503

P

ポーリープ	499
Pulmonary surgery	381

R

労災患者	276
レーザー外科メス	1
リンパ管	157
Rokitansky-Aschoff 洞	496
類上皮腫	69

S

左房粘液腫	499
三叉神経痛	504
サルコイドーシス	495
制癌剤	198
脊髄血管撮影	274
先天性脳脊髄液鼻漏	272
先天性水頭症マウス	168
遷延性意識障害	67
SHR ラット	271
Surgical laser knife	1
脂肪塞栓	423
小腸肉腫	497
小児腸重積症	474
心筋梗塞	497
心臓局所冷却法	498
心膜囊腫	501
心中隔欠損症	341
手術感染	279
植物人間	277
消化管結核	56
腫骨奇形	375
僧帽弁膜症	234
僧帽弁閉鎖不全症	504
走査電顕	275

総明管	369, 374
水頭症	267, 271, 276
脾全切除	465

T

体外循環	73
退行性髄膜瘤	499
多発性血管芽腫	155
胆石	21, 374
胆石イレウス	500
胆石溶解	3
胆嚢肉腫	505
椎骨動脈瘤	70
Tuberculosis	56
糖質代謝	465

U

右室2腔症	498
-------	-----

X

X線マイクロアナライザー	21
--------------	----

Y

YC-93	343
腰部膿瘍	495

Z

頭蓋咽頭腫	66
髄液	414
髄膜腫	68, 271

INDEX OF VOLUME 44

Author Index

A		Koyama, Tsunemaro.....	226
Ando, Fumitaka.....		Kunieda, Tokuro.....	257, 495, 497, 499, 502, 503, 504
C		Kuroda, Hideo.....	436
Chujo, Takeshi.....		Kuyama, Takeshi.....	1
E		M	
Endo, Hideo.....		Majima, Masanori.....	436
F		Masaki, Naoya.....	474
Ferguson Jr., Arbert B.....		Matsushita, Shoogen.....	424
Fujioka, Akihiro.....		Minami, Akira.....	444
H		Mori, Atsumi.....	330
Hamada, Kunihiro.....		Mori, Koreaki.....	159
Hashino, Hiroyasu.....		Morita, Shin.....	375
Hasegawa, Toyoo.....		Moritake, Kouzo.....	87, 108
Handa, Hajime.....		Morita, Kazuhiko.....	150, 378
Handa, Jyoji.....		Murata, Shinji.....	424
Hikasa, Yorinori.....		N	
Hirata, Toshifumi.....		Nagai, Jun.....	279, 352
Hirose, Akira.....		Nagase, Masao.....	61, 365, 370
Honjo, Ichio.....		Nagai, Hiroyuki.....	51
Hosono, Satoru.....		Nagata, Masayuki.....	234
I		Nakase, Akira.....	465
Ikeda, Masanao.....		Nishijima, Yoshinobu.....	61, 365, 370
Ishiguro, Minoru.....		Nishimura, Ichiro.....	465
Itagaki, Tetuya.....		Nogimura, Shohei.....	424
Ito, Tetsuo.....		Nonoyama, Akira.....	381
Iwahashi, Kanji.....		O	
K		Okuma, Akio.....	267, 495, 498, 499, 502
Kanazu, Kazuro.....		Onishi, Norio.....	352
Kanzaki, Yoshio.....		Omae, Katsumasa.....	257
Kashiki, Yoshitomo.....		Oda, tatsuro.....	313
Kawai, Jun.....		Ogata, Masahiro.....	150, 275, 378
Kido, Susumu.....		Oka, Masanori.....	199, 352
Kituji, Nobuo.....		Oku, Hidetaka.....	330
Kodama, Hiroshi.....		Oyama, Teruo.....	214
		R	
		Raimondi J. Anthony.....	159
		Ratanasiri, Tharvorn.....	199

S

Saito, Akira	424
Satomura, Kisaku	157, 436
Sakai, Noboru	267, 497, 498, 505
Sakata, Kazuki	257, 267, 498, 499, 501, 503, 504
Sasaki, Usio	67, 70, 141, 273
Sato, Akio	257
Shibata, Genji	168
Simizu, Hidenori	67, 70, 141, 272, 273
Shirotani, Hitoshi	330
Setoyama, Motoichi	61, 365, 570
Setsuie, Naoki	330
Sera, Toshiyuki	436
Sugita, Taichi	21
Sudo, Takaaki	465

T

Tanaka, Seisuke	352
Tanaka, Taizo	61, 365, 370
Takahashi, Masaru	67, 70, 141, 272, 273

Takenaka, Masafumi	3, 21
Tanimura, Hiroshi	3, 21
Tatsuta, Norikazu	73
Terano, Mitsumasa	379, 383
Tominaga, Yoshinori	352
Toshimitsu, Masahiro	281

U

Ueba, Yasuo	449
Uyeo, Toyoji	415
Uyeo, Toyoji	352

Y

Yamada, Hiromu	257, 267, 498, 499, 505
Yamaguchi, Katsuo	330
Yamamuro, Takao	199, 352
Yamamoto, Kiyoshi	352
Yamamoto, Toyoshiro	150, 275, 378
Yasunaga, Toshimi	424
Yoshida, Haruyoshi	51

Subject Index

- A**
- Acetabuloplasty199
 - Adenovirus474
 - Adenovirus124
 - Albumin383
 - Ames shunt set267
 - Angiographic visualization424
 - Angulation451
 - Anomaly of the bile duct365
 - Anoxic arrest313
 - Antituberculous chemotherapy56
 - Appendicitis and infantile
intussusception474
 - Artrial reconstruction451
 - Assimilation index465
 - Autograft51
- B**
- Bakes' dilator365
 - Band culture method169
 - Bile acids3
 - Biomechanics87
 - Bleomycin169
 - Boundary layer separation108
 - Brain edema214
 - Brain perfusion257
 - By-pass grafting451
- C**
- Cerebral aneurysm87
 - Cerebral aneurysm108
 - Cerebral blood flow343
 - Cerebral metabolism214
 - Cerebral vasodilator343
 - Cerebral vasospasm343
 - Cerebrospinal fluid383
 - ch mouse159
 - Chemotherapy169
 - Chenodeoxy cholic acid3
 - Cholesterol stone3
 - Chronic hemodialysis51
 - Classification444
 - Clinical analysis383
 - Combined craniotomy150
 - Complete transposition of the
great arteris330
 - Congenital dislocation of the hip199
 - Corrective surgery in infancy330
 - Cu-BLM169
- D**
- Deep hypothermia257
 - Deep hypothermia330
 - Degeneration75
 - Development of acetabulum199
 - Dilatation of the commonbile duct370
 - 1,4-dihydropyridine derivative343
 - Double-catheter technic424
 - Duodenal carcinoma444
 - Dumping syndrome281
- E**
- Electroimmunodiffusion383
 - Esophageal surgery169
 - Extracellular space159
- F**
- Fatty acid toxicity415
 - Fat embolism syndrome415
 - Fluorescent antigen technique124
 - Fluorescent antibody and
antigen technique474
- G**
- Gastrointestinal tuberculosis56
- H**
- Hamster3
 - Head injuries75
 - Hemorrhoid436
 - Human gallstones21
 - Hydrocephalus159
 - Hydrocephalus267

I

Infantile intussusception	124
Intimal pad	87
Intracholedochal infusion	61
Intraarterial infusion therapy	424
Intrahepatic calculi	61
Intramyocardial oxygen tension	313
Internal carotid stenosis	141
Intraoperative cholangiography	365
Insulin half-life	465
Insulin sensitivity test	465

J

Jaundice	444
----------------	-----

K

Knee joint	352
Knee prosthesis	352

L

Lactate	313
Laparotomy	56
Lipase activity in the lung	415

M

MCA occlusion	214
Mean arterial pressure	313
Medial defect	87
Mitral stenosis	234
Mißbildung am Fersenbein	375
Multiple cerebellar hemangioblastoma	150
Myocardial ultrastructure	313

N

Neurofibromatosis	226
-------------------------	-----

O

One-stage correction	330
----------------------------	-----

P

Peripapillary carcinoma	444
Periventricular white matter	159

Perfluorocarbon blood	257
Perfusion technique	257
Posterior tibial artery	51
Pulmonary hypertension	234

R

Rat brain perfusion	257
rCBF	75
Recirculation	214
Recklinghausen	226
Reconstruction	251
Reconstruction of knee joint	352
Regression line	383

S

Saphenous vein	51
Selection of patients for surgery	234
Serotonin	281
Shelf operation	199
Shunt failure	51
Smooth	75
Stagnation pressure	108
Stasis stone-primary in common duct	370
Substitute stomach	281
Supraduodenal choledochoduodenostomy	370
Sympathectomy	451

T

Tetralogy of Fallot	330
Thromboendarterectomy	141
Therapy	3
Total gastrectomy	281
Total pancreatectomy	465
Trace metals	21
Transtentorial upward herniation	150
Two kinds of guidewire	424

V

Vagotomy	281
Valve replacement	234
Vascular distensibility	108
Ventricular septal defect	330
V. P shunt	267

X

Xe 133 clearance method	75
X-ray microanalysis	21

Y

YC-93	343
-------------	-----

Contents of Volume 44 No. 1~6

"Surgical Laser Knife	TAKESHI KUYAMA (1)
Experimental Studies on Dissolution of Cholesterol Gallstones	
in Hamsters with Chenodeoxycholic Acid	HIROSHI TANIMURA, et al. (3)
Analysis by X-ray Microanalyser of Trace Metal	
Contents of Gallstones	HIROYASU HASHINO, et al. (21)
Reconstruction of the Posterior Tibial Artery with	
Subcutaneously Placed Saphenous Vein	
Autograft for Chronic Hemodialysis	MASANAO IKEDA, et al. (51)
Tuberculosis of the Gastrointestinal Tract :	
Report of 11 Cases	HIROFUMI OHASHI, et al. (56)
A Case of Retained Intrahepatic Stones Treated	
by Postoperative Intrahepatic Cholangiolithotomy	
Infusion of Heparinized Saline	MASAO NAGASE, et al. (61)
Extra Corporeal Circulation	NORIKAZU TATSUTA (73)
A Study on Regional Cerebral Blood Flow in Chronic	
Head Injury.....	HIDEO ENDO (75)
Biomechanical Studies on the Pathogenesis of Cerebral	
Aneurysms and the Mechanism of Their Growth and	
Rupture	KOUZO MORITAKE (87)
Part I Structures and Mechanical Behaviors of Cerebral Arteries	
Part II Hemodynamics at Cerebral Arterial Bifurcations and in	
Cerebral Aneurysms	
Fluorescent Antigen Technique : A Method of the	
Histochemical Demonstration of Anti-adenovirus	
Antibody Containing Cells	HIROSHI KODAMA (124)
Thromboendarterectomy in Internal Carotid Stenosis.	
Report of Three Cases	HIDENORI SIMIZU, et al. (141)
Successful Removal of Multiple Cerebellar Hemangioblastoma	
Case report	TOYOSHIRO YAMAMOTO, et al. (150)
Lymphatic Study in the Surgical Clinic ..	KISAKU SATOMURA (157)
Submicroscopic Changes in the Periventricular	
White Matter of Hydrocephalic <u>ch</u> Mouse	KOREAKI MORI, et al. (159)
Studies on Supplementary Chemotherapy Combined with Surgical	
Treatment of Carcinoma of the Esophagus	GENJI SHIBATA (168)
Influence of Early Acetabuloplasty on	
the Development of the Acetabulum	TAKAO YAMAMURO, et al. (199)
An Experimental Study on Revascularization of Cerebral	
Infarction at the Acute Stage ; Especially on	
Cerebral Metabolism	TERUO OYAMA, et al. (214)
Primäre Knochenveränderungen am Schädel bei der	
Neurofibromatosis, Recklinghausen	TSUNEMARO KOYAMA, et al. (226)

Clinical Studies of Operations for the Mitral Valve Disease	
A Consideration on the Bases of Hemodynamic Changes.....	MASAYUKI NAGATA (234)
Isolated Rat Brain Perfusion.....	YOSHITOMO KASHIKI, et al. (257)
—Experimental Preparation Technique and Report of a Cases of Long Electroencephalographic Survival—	
Experiences with Ventriculo-Peritoneal Shunt Operations for Hydrocephalus, with Special Reference to Effects of Additional Slit Formation in Peritoneal Catheter	NOBORU SAKAI, et al. (267)
Development of the Bio-clean Operating Room	JUN NAGAI (279)
Studies on the Relationship between the Qualities of Substitute Stomachs and the Occurrence of the Dumping Syndrome after Total Gastrectomy	MASAHIRO TOSHIMITSU (281)
Normothermic Anoxic Arrest of the Canine Heart : Estimation of the Safe Period.....	TATSURO ODA (313)
One-Stage Correction of Ventricular Septal Defect, Terafology of Fallot and Complete Transposition of the Great Arteries in Infancy	ATUMI MORI et al. (330)
Cerebral Vascular Effects of a New Derivative of 1,4-Dihydropyridine (YC-93), with Special Reference to Its Effect on the Experimental Basilar Artery	JYOJI HANDA (343)
Reconstructive Surgery of Knee Joint with Prostheses.....	TOYOJI UYEO, et al. (352)
Surgical Appraisal of Sphincter of Oddi.....	MASAO NAGASE, et al. (365)
Dilatation of the Common Bile Duct and Gallstone Formation	MASAO NAGASE, et al. (370)
Ein seltener Fall von Mißbildung am Fersenbein	SHIN MORITA (375)
The Current Status in the Pulmonary Surgery.....	AKIRA NONOYMA (381)
Measurement and Clinical Analysis of The Fourteen Major Plasma Proteins in the Cerebrospinal Fluid	MITSUMASA TERANO (383)
Effect of Bleeding, Fracture and Diminished Oxygen Atmosphere on Lung Tissue Exposed to Fat	TOYOJI UYEO, et al. (415)
Intraarterial Infusion Therapy with Anti-Cancer Agents	SHINJI MURATA, et al. (424)
A Double Blind Study of the Effect of Circanetten® on Anal Plies in Comparison with a Luxantia	KISAKU SATOMURA, et al. (436)
Carcinoma of the Peripillary Portion of the Duodenum without Jaundice	AKIRA MINAMI (444)
Advancement of Hand Surgery with Memory of Sterling Bunnell	UEBA YASUO (449)
Some Fundamental Studies on the Arterial Reconstruction	KUNIHIRO HAMADA (451)
Studies on Sugar Metabolism in Totally Pancreatectomized Dogs with Special Reference to Insulin Metabolism — Insulin Half-Life.....	KATSUHIKO KONISHI, et al. (465)
A Study on Adenovirus infection in Intestine	NAOYA MASAKI (474)
—Clinical and Experimental Investigation—	

ARCHIV
Für
Japanische Chirurgie

Bd. 44 Nr. 1 JAN. 1, 1975

日本外科宝函

第 44 卷 第 1 號

昭和50年1月1日発行

CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK
KYOTO JAPAN

(Arch. Jap. Chir.)

京都大学医学部外科整形外科学教室内

(日. 外. 宝)

日本外科宝函編集室

胃癌・肺癌に

cytocideを組み入れた
多剤併用療法を——

癌 多剤併用療法 代謝拮抗剤

キロサイド® 注

〈シトシンアラビノシド注〉20mg・40mg・60mg

キロサイド注を中心とし、
Mitomycin C、5FUなどを組合せた
いわゆる〈MFC療法〉及び
〈FCMT療法〉等の
多剤併用療法は、固形癌に
対する治療効果を増強する

適応症

腫瘍腫

消化器癌

(胃癌、胆のう癌、胆道癌、
脾癌、肝癌、結腸癌、直腸癌)
肺癌、乳癌、女性性腺癌
(子宮癌、卵巣癌等)等

但し他の抗腫瘍剤

(5-フルオロウラシル、

マイトマイシンC、

シクロホスファミド、

クロモマイシンA₃、アメトプテリン、

ビンクリスチン

ビンブラスチン等)と併用する場合に限る。

腫急性白血病

急性白血病(赤白血病、

慢性骨髄性白血病の急性転化例を含む)

(用法・用量は説書、文献を参照下さい)

現代病に挑戦する



日本新薬KK

*使用上の注意—添付文書をよくご覧下さい。

〈601〉京都市南区西大路八条

目 次

話 題

レーザー外科メスについて……………久 山 健 (1)

原 著

Chenodeoxycholic acid による胆石溶解に関する実験的研究……………谷 村 弘, 他 (3)

胆石中に含まれる微量金属元素の

X線マイクロアナライザーによる分析的研究……………端 野 博 康, 他 (21)

臨 床

血液透析を目的とした後脛骨動脈再建術……………池 田 正 尚, 他 (51)
——自家大伏在静脈皮下移植による——

消化管結核11例について……………大 橋 広 文, 他 (56)

症 例

ヘパリン加生理的食塩水の総胆管内注入によって

治癒させ得た肝内遺残結石の1例……………長 瀬 正 夫, 他 (61)

第6回中国四国脳神経外科談話会…………… (66)

目 次

話 題

体外循環法について……………龍 田 憲 和 (73)

原 著

慢性期頭部外傷の局所脳循環に関する研究……………遠 藤 英 雄 (75)

脳動脈瘤の成因ならびに増大・破裂機序に関するバイオメカニクス的研究……森 竹 浩 三 (87)

第 1 部 脳動脈の組織構築と力学的特性に関する研究

第 2 部 脳動脈分岐部および脳動脈瘤内の血流動態に関する血行力学的研究

螢 光 抗 原 法……………児 玉 宏 (124)

——腸管における抗アデノウイルス抗体保有細胞の観察——

臨 床

内頸動脈狭窄に対する Thromboendarterectomy についての検討……………清 水 英 範, 他 (141)

症 例

多発性血管芽腫の 1 治験例……………山 本 豊 城, 他 (150)

目 次

話 題

外科臨床におけるリンパ管の研究……………里 村 紀 作 (157)

原 著

先天性水頭症 (ch) マウスの脳室近傍白質の微細変化……………森 惟 明, 他 (159)

食道癌手術に併用する制癌剤療法に関する研究……………柴 田 眼 治 (169)

幼児期における白蓋形成術および骨盤骨切り術の白蓋の

発育に及ぼす影響について……………山 室 隆 夫, 他 (199)

急性期における脳血管閉塞の血行再建に関する実験的研究……………小 山 照 夫 (214)

——特に脳代謝を中心として——

頭蓋単純撮影で認められる Neurofibromatosis の一次性骨変化……………小 山 素 磨, 他 (226)

僧帽弁膜症に対する手術の効果に関する臨床的研究……………永 田 匡 之 (234)

——血行動態を中心にして——

ラ ト 脳 灌 流 法……………樫 木 良 友, 他 (257)

——手技と長時間脳波記録例——

水頭症に対する脳室腹腔連絡術の成績……………坂 井 昇, 他 (267)

——腹腔側管 slit 増設法の効果について——

昭和49年京都大学脳神経外科学教室 同門会集談会…………… (271)

目 次

話 題

手術感染予防法の発展……………長 井 淳 (279)

原 著

胃全摘術後の代用胃とダンピング症候群に関する研究……………年 光 昌 宏 (281)

常温下冠血流遮断 (Anoxic Cardiac Arrest) の

安全限界に関する実験的研究……………小 田 達 郎 (313)

臨 床

心室中隔欠損症, Fallot 四徴症, 完全大血管転位症の

乳児期一期的根治手術……………森 渥 視, 他 (330)

1,4-Dihydropyridine 誘導体 YC-93 の脳血管に対する作用……………半 田 護 二 (343)

——ネコ脳底動脈の実験的収縮に対する拮抗作用を中心に——

種々膝人工関節の経験……………上 尾 豊 二, 他 (352)

症 例

総胆管末端部通過性の判定法について……………長 瀬 正 夫, 他 (365)

総胆管拡張と胆石形成……………長 瀬 正 夫, 他 (370)

腫骨における稀な奇形の 1 例……………森 田 信 (375)

第 1 回近畿脳腫瘍研究会…………… (378)

目 次

話 題

肺外科での最近の動向……………野 々 山 明 (381)

原 著

髄液中の14種類の血漿蛋白の定量と臨床分析法……………寺 野 允 将 (383)

出血、骨折及び低酸素状態における脂肪塞栓の実験的研究……………上 尾 豊 二, 他 (415)

臨 床

抗癌剤の局所動脈内注入法について……………村 田 真 司, 他 (424)

痔核に対するサーカネッテンと緩下剤との臨床効果の比較……………里 村 紀 作, 他 (436)

症 例

乳頭部癌の無黄疸症例……………南 亮 (444)

投稿規定(昭. 49.7.1改正)

- 本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する(年間6冊). 状況により臨時増刊を発行する.
- 本誌予約購読者の原稿を掲載する.
- 予約購読料は年額3,000円(送料を含む)とし, 分売は1冊500円とする.
- 原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原稿には欧文表題・欧文抄録, 欧文原稿には和文表題及び和文抄録を添付されたい.
原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)
症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)
- 原稿が当編集室へ到達した日附を受付日とする.
- 原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事. この際は「」不要.
- 数量の単位は下記の例による.
例, m, cm, mm, cc, kg, g, °C, μ,
%, pH, 等 ピリオド不要
- 原稿は横書とし新かなづかいを用いる事.
- 欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入されたい. 又, この他に欧和文とも 100 words以内の欧文抄録を添付されたい.
- 欧文中の人名にはアンダーラインを記入する事(文献を除く).
- 挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し, 直ちに凸版の製作が出来るようにして送附の事. また, その挿入位置を原稿に記入する事.
- 図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, もしくは添付

し本文中には挿入個所のみ指定する事.

- 原稿は完全なものとして御送附願いたい. 校正の際における加筆補正は認めない.
- 引用文献は篇末に集め, 次の例による.
Faris, T. D., Dickhans, A. J., Marchioro, T. L. and Starzl, T. E.: Radioisotope scanning in auxiliary liver transplantation. Surg. Gyn. Obst., 123: 1261, 1966.
Wolf, S. and Wolf, H. G.: Human Gastric Function. London, Oxford University Press, 1943.
Sissons, H. A.: The growth of bone. In The Biochemistry and Physiology of Bone, edited by Borne, G. H. New York Academic Press Inc., 1956.
- 所 安夫: 脳腫瘍. 東京, 医学書院, 昭34.
- 三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学 6: 769, 昭26.
- 掲載料, 図表, 写真版等の費用は著者の実費負担とする. アート紙の使用, コロタイプ, 天然色図版の掲載等に関しても著者において実費を負担するものとする.
- 執筆者において別刷希望の方は, 投稿と同時に希望数を附言されたい. 別刷は1頁10円を申し受ける.
- 原稿は書留郵便で下記に送られたい.
- なお原稿は返却しない.

京都市左京区聖護院川原町54

京都大学医学部附属病院外科学教室

日本外科宝函編集室宛

電 (075) 751-3 6 5 9

昭和50年2月20日印刷

昭和50年3月1日発行

編集兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

日 笠 頼 則

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル

松 崎 秀 雄

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル

松崎印刷株式会社

京都大学医学部外科整形外科学教室

発行所

日本外科宝函編集室

代表者 日 笠 頼 則

(振替口座京都3691)

投稿規定 (昭. 49.7.1 改正)

○本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する (年間6冊). 状況により臨時増刊を発行する.

○本誌予約購読者の原稿を掲載する.

○予約購読料は年額3,000円 (送料を含む) とし, 分売は1冊500円とする.

○原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原稿には欧文表題・欧文抄録, 欧文原稿には和文表題及び和文抄録を添付されたい.

原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内 (図表共)

症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内 (図表共)

○原稿が当編集室へ到達した日附を受付日とする.

○原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事. この際は「」不要.

○数量の単位は下記の例による.

例, m, cm, mm, cc, kg, g, °C, μ ,

%, pH, 等 ピリオド不要

○原稿は横書とし新かなづかいを用いる事.

○欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入されたい. 又, この他に欧和文とも 100 words以内の欧文抄録を添付されたい.

○欧文中の人名にはアンダーラインを記入する事 (文献を除く).

○挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し, 直ちに凸版の製作が出来るようにして送附の事. また, その挿入位置を原稿に記入する事.

○図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, もしくは添付

し本文中には挿入個所のみ指定する事.

○原稿は完全なものとして御送附願いたい. 校正の際における加筆補正は認めない.

○引用文献は篇末に集め, 次の例による.

Faris, T. D., Dickhans, A. J., Marchioro, T. L. and Starzl, T. E.: Radioisotope scanning in auxiliary liver transplantation. Surg. Gyn. Obst., 123: 1261, 1966.

Wolf, S. and Wolf, H. G.: Human Gastric Function. London, Oxford University Press, 1943.

Sissons, H. A.: The growth of bone, In The Biochemistry and Physiology of Bone, edited by Borne, G. H. New York Academic Press Inc., 1956.

所 安夫: 脳腫瘍. 東京, 医学書院, 昭34.

三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学 6: 769, 昭26.

○掲載料, 図表, 写真版等の費用は著者の実費負担とする. アート紙の使用, コロタイプ, 天然色図版の掲載等に関しても著者において実費を負担するものとする.

○執筆者において別刷希望の方は, 投稿と同時に希望数を附言されたい. 別刷は1頁10円を申し受ける.

○原稿は書留郵便で下記に送られたい.

○なお原稿は返却しない.

京都市左京区聖護院川原町54

京都大学医学部附属病院外科学教室内

日本外科宝函編集室宛

電 (075) 751-3 6 5 9

昭和50年4月20日印刷

昭和50年5月1日発行

編集兼発行者

印刷者

印刷所

京都市左京区聖護院川原町
日 笠 頼 則

京都市下京区油小路松原上ル
松 崎 秀 雄

京都市下京区油小路松原上ル
松崎印刷株式会社

京都大学医学部外科整形外科学教室

発行所

日本外科宝函編集室

代表者 日 笠 頼 則

(振替口座京都3691)

投稿規定 (昭和 49.7.1 改正)

- 本誌は毎年 1 月, 3 月, 5 月, 7 月, 9 月及び 11 月の 1 日に発行する (年間 6 冊). 状況により臨時増刊を発行する.
- 本誌予約購読者の原稿を掲載する.
- 予約購読料は年額 3,000 円 (送料を含む) とし, 分売は 1 冊 500 円とする.
- 原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原稿には欧文表題・欧文抄録, 欧文原稿には和文表題及び和文抄録を添付されたい.
原著論文, 綜説, 臨床, 400 字詰 40 枚以内 (図表共)
症例報告, 研究速報, 400 字詰 15 枚以内 (図表共)
- 原稿が当編集室へ到達した日附を受付日とする.
- 原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事. この際は「」不要.
- 数量の単位は下記の例による.
例, m, cm, mm, cc, kg, g, °C, μ ,
%, pH, 等 ピリオド不要
- 原稿は横書とし新かなづかいを用いる事.
- 欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入されたい. 又, この他に欧和文とも 100 words 以内の欧文抄録を添付されたい.
- 欧文中の人名にはアンダーラインを記入する事 (文献を除く).
- 挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し, 直ちに凸版の製作が出来るようにして送附の事. また, その挿入位置を原稿に記入する事.
- 図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, もしくは添付

し本文中には挿入個所のみ指定する事.

- 原稿は完全なものとして御送附願いたい. 校正の際における加筆補正は認めない.
- 引用文献は篇末に集め, 次の例による.
Faris, T. D., Dickhans, A. J., Marchioro, T. L. and Starzl, T. E.: Radioisotope scanning in auxiliary liver transplantation. Surg. Gyn. Obst., 123: 1261, 1966.
Wolf, S. and Wolf, H. G.: Human Gastric Function. London, Oxford University Press, 1943.
Sissons, H. A.: The growth of bone. In The Biochemistry and Physiology of Bone, edited by Borne, G. H. New York Academic Press Inc., 1956.
- 所 安夫: 脳腫瘍. 東京, 医学書院, 昭和 34.
- 三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学 6: 769, 昭和 26.
- 掲載料, 図表, 写真版等の費用は著者の実費負担とする. アート紙の使用, コロタイプ, 天然色図版の掲載等に関しても著者において実費を負担するものとする.
- 執筆者において別刷希望の方は, 投稿と同時に希望数を附言されたい. 別刷は 1 頁 10 円を申し受ける.
- 原稿は書留郵便で下記に送られたい.
- なお原稿は返却しない.

京都市左京区聖護院川原町 54

京都大学医学部附属病院外科学教室内

日本外科宝函編集室宛

電 (075) 751-3 6 5 9

昭和 50 年 6 月 20 日印刷

昭和 50 年 7 月 1 日発行

編集兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

日 笠 頼 則

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル

松 崎 秀 雄

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル

松崎印刷株式会社

発行所

京都大学医学部外科整形外科学教室

日本外科宝函編集室

代表者 日 笠 頼 則

(振替口座京都 3691)



木村忠司先生には肝硬変症のため京都大学医学部附属病院に御入院中のところ、昭和50年10月7日午後11時6分溘焉として逝去された。柩の中に横たわれた先生の御顔は古武士のように美しく、もはや近寄り難い尊厳さに満ちていた。明治41年7月4日青森県上北郡野辺地町の御生れであるから、享年67才にあたらせられる。

10月9日の密葬につづき、11月15日には、病軀をおしてその設置に先生が最後の情熱をかたむけられた愛媛大学の、その記念講堂で、厳かに先生への告別の式が同大学医学部葬を以てとりおこなわれた。

会葬者芳名録の中に、大学紛争当時、先生と団交した数多くの医学部学生であった方々の名前をみだが、京都大学医学部長事務代理、同大学附属病院長として事の処理にあたられた先生の清潔で、而も誠実な御人柄がしのばれた。

先生は昭和37年10月恩師青柳安誠先生の後任として京都大学医学部外科学教室第二講座を主宰されるようになり、爾来昭和47年3月停年退官を迎え、京都大学名誉教授となられるまでの間、終始同大学に於ける学生並びに後進の教育、指導、更には診療にあたられ、先生の日常には使命感溢れるものがあった。

昭和46年には日本自律神経学会会長としての、昭和47年には日本外科学会会長としての重責を果たされ、外科学の進歩、発展に多大の寄与をなされたが、死の直前まで国際疼痛学会設立委員並びに同学会機関誌の編集委員としても御活躍された。これも先生の自律神経に関する深くて長い一連の系統的御業績が国際的に汎く認められるに至った証左である。また、先生の下大静脈閉塞症に対する経右房破砕術なる術式の創案は、本邦人の手になる後の世にまで残る数少ない業績の一つとして、国際的に高く評価されている。

昭和47年7月には愛媛大学教授に御就任、同大学附属病院準備室長として御尽瘁、その設立の基礎を確立された。

日頃、あの温容にして活達な聲歟に接し得た門下生一同、心から先生の御冥福を祈る。

昭和50年11月30日

猪子・伊藤記念会
門下生一同

投 稿 規 定 (昭. 49.7.1 改正)

○本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行する (年間6冊). 状況により臨時増刊を発行する.

○本誌予約購読者の原稿を掲載する.

○予約購読料は年額3,000円 (送料を含む) とし, 分売は1冊500円とする.

○原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原稿には欧文表題・欧文抄録. 欧文原稿には和文表題及び和文抄録を添付されたい.

原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内 (図表共)

症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内 (図表共)

○原稿が当編集室へ到達した日附を受付日とする.

○原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて算用数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなでかく事. この際は「」不要.

○数量の単位は下記の例による.

例, m, cm, mm, cc, kg, g, °C, μ ,

%, pH, 等 ピリオド不要

○原稿は横書とし新かなづかいを用いる事.

○欧文及び欧文抄録はタイプライターで記入されたい. 又, この他に欧和文とも 100 words以内の欧文抄録を添付されたい.

○欧文中の人名にはアンダーラインを記入する事 (文献を除く).

○挿画, 曲線等は必ず白紙又は青線方眼紙に墨で清書し, 直ちに凸版の製作が出来るようにして送附の事. また, その挿入位置を原稿に記入する事.

○図, 表, 写真等はすべて別紙に記入, もしくは添付

し本文中には挿入個所のみ指定する事.

○原稿は完全なものとして御送附願いたい. 校正の際における加筆補正は認めない.

○引用文献は篇末に集め, 次の例による.

Faris, T. D., Dickhans, A. J., Marchioro, T. L. and Starzl, T. E.: Radioisotope scanning in auxiliary liver transplantation. Surg. Gyn. Obst., 123 : 1261, 1966.

Wolf, S. and Wolf, H. G.: Human Gastric Function. London, Oxford University Press, 1943.

Sissons, H. A.: The growth of bone. In The Biochemistry and Physiology of Bone, edited by Borne, G. H. New York Academic Press Inc., 1956.

所 安夫: 脳腫瘍. 東京, 医学書院, 昭34.

三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学 6 : 769, 昭26.

○掲載料, 図表, 写真版等の費用は著者の実費負担とする. アート紙の使用, コロタイプ, 天然色図版の掲載等に関しても著者において実費を負担するものとする.

○執筆者において別刷希望の方は, 投稿と同時に希望数を附言されたい. 別刷は1頁10円を申し受ける.

○原稿は書留郵便で下記に送られたい.

○なお原稿は返却しない.

京都市左京区聖護院川原町54

京都大学医学部附属病院外科学教室内

日本外科宝函編集室宛

電 (075) 751—3 6 5 9

昭和 50 年 10 月 20 日 印刷

昭和 50 年 11 月 1 日 発行

編集兼発行者

京都市左京区聖護院川原町

日 笠 頼 則

印刷者

京都市下京区油小路松原上ル

松 崎 秀 雄

印刷所

京都市下京区油小路松原上ル

松崎印刷株式会社

京都大学医学部外科整形外科学教室

発行所

日本外科宝函編集室

代表者 日 笠 頼 則

(振替口座京都3691)

胃・十二指腸潰瘍手術， 広範囲子宮切除術での

よりよい手術成績のために
手術野の神経細枝を青く染める

外科用神経染色剤

ニューロステイン

胃・十二指腸潰瘍の外科治療では、近位選択的迷走神経切断術が広く行なわれて好成績をあげられていますが、解剖学的知識を熟知していても肉眼的に全ての迷走神経を確認するには、かなりの困難を伴うとされています。不完全迷切での迷走神経細枝の残存による潰瘍の再発や消化液分泌障害など手術に伴って生ずる神経性随伴症をより少なくするためには全ての迷走神経を確認する必要があります。ニューロステインの応用によって適確な迷走神経切除が可能となります。

また、産婦人科領域の広範囲子宮切除術に際して、ニューロステインを用いて神経細枝を識別し膀胱支配神経などを温存すれば、術後排尿障害、膀胱麻痺のような合併症を起こすことなく、よりよい手術成績をあげることができます。

- 特 長
1. 非常に細い神経分枝も判別できる。
 2. 神経細枝は染まり血管が染まらないので両者は明確に区別できる。
 3. 選択的迷走神経切断術あるいは膀胱支配神経温存術が容易になる。
 4. 手術野で深さの異なるところ、異なる部位に繰返し使用できる。
 5. 本剤使用による悪影響の報告はない。

効能・効果 迷走神経遮断術を必要とする胃・十二指腸潰瘍の外科的治療ならびに広範囲子宮切除術に際しての神経細枝の識別。

■包装・薬価

5 ml × 5 管入

5 ml 1 管 246 円

■貯 法

冷暗所に保存

■ニューロステイン医学文献集贈呈します(ご勤務先をご記入ください)。



株式会社

エドリナ

大阪市城東区蒲生町 3-1
〒536